

2025年3月発行 文責 にじいろこどもクリニック 院長 相澤知美

雪が少しずつ解けて、やっと春が近づいてきました。年度末の卒業シーズンとなり、4月から新しい生活になる方も多いと思います。当院も、開業して2年となりました。2年も経つと、赤ちゃんだった子がおしゃべりになって、診察に協力的だったり、「嫌だ!」を全力で主張してみたり、下の子が生まれてお兄さん、お姉さんになった子もいたり、子供たちの成長を見るのはとても楽しく、嬉しく思います。

最近、感染症で多いのは胃腸炎です。点滴や入院が必要なほど重症な方はほとんどいらっしゃいませんが、家族内感染も多いので、うがい・手洗いで予防を行って下さい。インフルエンザやコロナは一部でまだ出ていますが落ち着いています。春休みも薄着で風邪をひかないように体調に気をつけてお過ごしください。

## アナフィラキシーについて

アナフィラキシーとは、**全身性の蕁麻疹 + 呼吸器、循環器、消化器などの複数の臓器にアレルギー症状を急速に認めること**を言います。**意識障害**や**血圧低下**を伴う場合を**アナフィラキシーショック**と言い、命に関わる場合もあります。

原因は、**1位 食物、2位 医薬品、3位 運動誘発アナフィラキシー**（原因食物 + 運動で発症）、**4位 昆虫**となっています（アナフィラキシーガイドライン2022より）。食物で多いのは、鶏卵、牛乳、木の実、小麦で、最近**木の実**のアナフィラキシーが増えています。木の実といっても沢山種類があります。その中で、**クルミとカシューナッツ**が原因として多いです。木の実アレルギーが増加している原因は不明ですが、過去に比べて木の実の輸入量や消費量は確実に増えているようで、家庭で食べられる機会が増えたことが要因の一つと考えられています。初めて摂取する場合は少量ずつにしましょう。

アナフィラキシーを発症した場合は、救急要請をしていただき、二次・三次病院で対応していただくことが多いです。**15 kg**以上でアナフィラキシーの既往がある方へは「**エピペン**」という、病院到着前の重症化を予防するアドレナリンの自己注射製剤を携帯してもらっています。

先日、院内で発生した場合を想定して、アナフィラキシー時の対応について勉強会を行いました。今後も安全な医療を提供できるように努力したいと思います。

## 🌸 4月の予定 🌸

- 4月22日(火) 午前 11:30まで  
午後 15:00～診療開始
- 4月30日(水) 午前 11:30まで
- 4月18日(金) 午後 16:00まで
- 4月19日(土) 午前 9:00～診療開始
- 4月28日(月) 午後休診、午前は通常通り

4月は学校健診等もあり受付時間に変更がある日が多いです。

## 4種混合ワクチン追加接種（1歳時、4回目） をこれから受ける方へ

2024年4月から、5種混合ワクチン（4種混合 + ヒブ）が開始されました。それ以前に、4種混合とヒブワクチンを別々に接種された方で、1歳時の追加接種（4回目）が未接種の方へのご連絡です。

4種混合ワクチンの製造が終了となります。ヒブワクチンも未接種の場合、5種混合への移行が可能です。4種混合ワクチンのみ未接種の方は、在庫があるうちに早めに接種を行って下さい。

